

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	焼損家屋内で、火災原因調査時のヒヤリ事案
3. 体験した事例の中心的要素	現場保存を高めるため、破壊等をなるべく行わないようにした消火活動
4. 体験した事例の原因・理由	消火活動の初動体制が速く、延焼火災の割に高所部分の焼け残りが多くった

## 【体験した事例の直接的原因について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

## 【体験した事例について】

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

1. 発生日時	平成 20 年 12 月 28 日 午前 9 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋内：焼損家屋内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	飛来・落下ぶつにぶつかる、
7. 事例体験時の活動	火災原因調査 [ 木造建物 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：火災原因調査
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[ 58 ]歳、 勤続年数[ 33 ]年、 現場経験年数[ 3 ] 年、 階級[ 消防司令 ]、 同様の活動 [ 1年に数度 ]、 任務 [ 車長 ]
○当事者 B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者 C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	火災原因調査時に屋根瓦の落下があった	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があつた。たまたま、負傷事故にならなかつた。その他：落下物があることは予測できた

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 いいえ
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 いいえ

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

はい：放水で、屋根瓦は落下させてあつたため危険と見なさなかつた
---------------------------------

ヒヤリハット図面

焼け残った 2 階屋根部分

